

林檎の森

りんごのもり

12
2019
vol.449



特集 1

消費者の声を生産者へ ～販売キャンペーン～

特集 2

未来の飛馬を担う若手農業者

消費者の声を生産者へ

販売キャンペーン

リンゴ販売キャンペーン開催

当JAでは職員によるリンゴ販売キャンペーンが行われた。11月8日～9日まで三沢地区、14日～15日まで天間林、東北町、16日～17日まで下田地区にて各地区2日間行われた。また、11月16日から12月7日まで、当JA湯口支所グリーンプラザにてりんごまつりも開催された。キャンペーンは毎年行われており、各地域の消費者はこの相馬産リンゴが販売されるのを楽しみにしている。毎年この時期になると各支所にはりんごまつりの開催期間の問い合わせが多く、相馬産のリンゴの需要が高まっていると伺える。



東北町キャンペーン



下田キャンペーン



JA相馬村りんごまつり



三沢キャンペーン

消費者を

目の前に感じたニーズ

各会場では、職員が来場者と対話しながら販売を行った。その中で消費者は、どのようなところに注目して購入しているのか気になった。

一つ目は着色具合を見て購入している事である。消費者の半分以上は赤い品種の「ふじ」を購入する人が多く、その中でも赤色の鮮やかさや、濃さに注目していた。購入する人の中には「赤い方が美味しいよね?」「このくらい赤いと大丈夫だよね?」などを聞く人も多かった。そのため一目見て赤いものを買いたい求める人が多く見られた。

二つ目は大きさである。家庭用でも食べられるサイズなどには注目せずに、大きいものを選んで印象であった。だが、毎年購入していく人は、経験からか、食べられるサイズのものを選んでいく傾向のようだ。大きい方を重点に買って行く人は、「大きい方が、良い生育をして味も良いイメージ」と言っていた。



より良いりんごを求めて品定めする生産者



今年のリンゴの出来を尋ねる消費者もいた



贈答用の作業に追われる作業員ら



良い色をしたリンゴが多く迷う消費者

今年は隔年結果や春の強風などの影響により、リンゴの収量が少なかったが、糖度が高く「おいしい」という声が多かったことから、お客様に気持ちよく購入して頂くことが出来た。



相馬管内の生産者が自慢の飛馬りんごを多く売り出していた

三つ目は食味。会場では売り出しているリンゴの試食も行なってもらい、訪れた方に「とても甘くて美味しい」「シヤキシヤキしてサツパリする」などの感想をもらうことが出来た。

一部では、以前「王林」に対するモサツとした軟質化した食感が気になったという消費者がいたが、今年の王林の試食を勧めてみたところ、「この食感なら好き」と、試食してからの購入が多く見られた。

こうして毎年販売しに各地へ行っていると、その地域の方は相馬産りんごを毎年とても楽しみにしているのを一番感じられた。リンゴを食べて美味しいうちは生産者を喜ばすだけでなく、食べた人の気持ちも喜ばせているんだと確認することが出来た。毎年こうして様々な地域へ行き販売させてもらい、消費者の方の声を聞いてはいるが、生産者の声として、今年の出来映えや、収穫までの過程などの話をもっと消費者へ届けることが出来ればいいと感じた。

未来の飛馬を担う若手農業者



前相馬地区の柴田 康平さん（37歳）

J A相馬村管内には、これからも新規で就農する若手農業者が数少ないとされているが、青年部には去年、今年と入部してくれる盟友が毎年おり、将来農業者になるための活動を行なっている。

今回はその中でも、今年 J A相馬村青年部長に就任した前相馬地区 柴田康平さんにお話をきいた。



お世話になった人へ贈答用リンゴを支度する

元 J A職員としての強み

柴田さんはリンゴ農家に生まれ、高校卒業後七戸町にある宮農대학교へ進学し、農業の基礎を二年間学んだ後、J A相馬村へ就職した。J Aでは販売課に所属し、リンゴ販売を中心とした仕事をこなし、多くの生産者との関わりも持つことが出来た。柴田さんは多くの生産者から自分の家のリンゴ作業の状況を聞かれることもあり、頭の片隅には常に農家を継がなければいけない思いがあったという。そんな中、父親の容体が悪くなり、これ以上両親に負担をかけられないと、6年間務めた J Aを退職し、就農を決意した。

柴田さんは、小学生のころから小遣い稼ぎなどで収穫作業を行ったり、中学生の時には葉摘み作業を行ったりと、年齢を重ねるにつれて農作業の大部分を経験していったという。そのため、就農した時にもその時の経験や大学で学んだことを活かして作業が出来ると思っていた。しかし、実際に自分が毎日初めから最後まで作業計画を立て、責任を持って取り組むようになる、とても大変だと感じた。

今までは農作業を手伝いに行っ

ても、ハシゴや農機具などが段取りされている中で作業をしていたり、8時から17時まで作業をすれば帰れると考えていた。その頃は、自分の心の中には「やらされてい」るよつな感覚がどこかにあったという。さらに「自分が動かなければ何も作業が進まない」という当たり前のことを就農して実感した。一番学ぶことが多かったのは父親からであり、父親の存在の大きさに気が付いたという。

また、J Aに努めていた時に関わっていた生産者の方々にも相談に乗ってもらい、とても助かったという。同時に周りにいた同世代や近い世代の農業者とも時間を共有し、楽しみ方も覚えていった。こうして J A時代に培ってきたものが今になっても活かしていた。

一生懸命さが結果に出る

柴田さんは農作業の中で一番難しいのは剪定作業だという。剪定作業は大学でも基礎は学んできたが、実際にやってみると正解が無く、毎年悩んでいると話す。仲間や先輩方と相談しながら取り組ん

でいたが、中々収量にも反映してこない時期があり頭を抱えたこともあったという。だが、毎年一生懸命剪定作業を行い、秋の収量に反映してきた時にはとてもやりがいを感じたという。剪定作業に限らず、農薬散布や、授粉作業等をしっかりと行う事で秋に着色や食味、収量という形で結果が現れる事が農業の醍醐味である。また、以前所属していた「相馬村青年の会」で自分たちの作ったりんごを販売しに行き、消費者から「甘くて美味しい」「また来年も来てね」という暖かい言葉をかけてもらい、自分のりんごが評価された時が、りんごを作っていて良かったと感じる瞬間だと言った。

「自然相手の仕事だからこそ難しいが、これからも美味しいりんごを作りたい。」と来年からの農作業へ意気込んでいた。

組織の活動を大事に

柴田さんは現在、JA下部組織のわい化研究会や相馬支会連合会紙漉沢支会や、青年部に所属している。中でも青年部では今年度から部長を務めている。去年までは

青森県農協青年部協議会役員、中弘南黒青年部連絡協議会会長も務めた。これらの組織での取組の中で沢山の仲間が増えていく事が財産だと話す。自分の事を気にしてくれたり、気晴らしに誘ってくれたりする仲間が増えていくと言っているのは大事なことだと語った。

青年部では牽引していかねばならない立場になったが、「なんでも気にせず意見を出してほしい」と部長へ就任したときに部員に伝えた。もっと部の中で様々なアイデアが出れば部の活性化に繋がる事にもなる。そのためにも気軽に意見を出す事が出来るような環境作りが大切だと思うし、自然と良いアイデアが産まれるように、日頃から部員との関わりを積み重ねていきたいと思っている。所属している組織の中で築いた仲間や協力してくれる先輩方とは長い付き合いになると思うので、これからも感謝の気持ちを忘れないうよう、組織活動を続けていきたいと述べていた。

これからの若手就農者へ

相馬管内には若い人は少ない。い

たとしても実家が農家では無かったり、実家は農家ではあるが若い人は一般企業で働いていたり、実際には難しい面であると感じている柴田さん。

農業は厳しいとか、きついというイメージを持つ若者もたくさん居ると思うが、難しいと思えば解決に導いてくれる先輩方がいるし、きついと思えば助けてくれる仲間がいる。

更に農業は、地元での活動がメインであるため、地域が元氣かそうでないかが手にとってわかる。だからこそ「自分の地域を元氣に」という地域貢献にも自然と力が入る。相馬ねぶた愛好会に携わっているが、地域の人々が笑顔で集まっている姿を見ると「相馬もまだまだ捨てたものではない」と、ますます元氣になると言う。

農業に興味があるものの、一歩を踏み出せない若者に「未来にこんな世界が待っている」と伝えて行きたいと語る柴田さん。

「今年からJA相馬村の正組合員となったので、より一層地域を盛り上げられるよう努力し、もっと楽しんで、最高のりんごと最高

の仲間を作っていきたい」と最後に意気込みを語った。



柴田さんと共に地域を盛り上げる青年部員ら



ねぶたを通じて地域の方との交流

topics

飛馬ふじ
収穫基準値をクリア

01



糖度のクリアを見届ける生産者

当JA高品質ブランドの飛馬ふじの糖度検査JA指導員によって、11月5日から各園地で開始された。今年以降雨が少なく糖度が高めであったため、各園地で基準の14度をクリアし、色も赤くなったことを確認し収穫作業を行った。生産者らは「今年をよく出来上がったので早く消費者へ食べてもらいたい。」とワクワクした表情で言っていた。

topics

青森県知事賞受賞

02



表彰状を獲得した三上加工施設責任者

11月6日、黒石市の津軽伝承工芸館にて、第53回青森県食品衛生大会が開催された。今回、当JA加工施設の衛生管理が他の施設の模範となるような環境であったことから、「食品衛生優良施設県知事賞」を受賞した。境谷工場長は「当JA加工施設の職員が一丸となり獲得した賞であり、来年はさらに上の賞を獲得できるように精進したい。」と来年の大会に期待を寄せていた。

topics

飛馬りんご
九州でアピール

03



今年のリンゴの出来秋をアピールする三上専務

11月9日㈶イオン九州と青森県の連携で、安全・安心な農林水産物とその加工品等の情報を発信し、青森県産品の消費拡大を図るイベントが行われ、当JAから三上隆基専務理事が出席してリンゴのPRを行った。三上専務理事は「今年のリンゴは雨も少なく日光に当たる時間が多かった為、糖度が高く食味がとてもいい」と消費宣伝を行った。店内では消費者がトキと早生ふじを試食し「とても甘くて美味しい」と感想を述べていた。

topics

より良い土づくりを
目指して

04



持ち込んだ土を一斉に乾燥させる

リンゴの収穫作業も終わり、多くの生産者が土壌分析をする為当JAに園地の土壌を持ち寄った。飛馬ふじ生産者は土壌診断が義務付けられている事から、半数以上が飛馬ふじの園地の土だが、それ以外のリンゴ生産者もより良いリンゴを生産しようと、積極的に土壌を持ち寄っていた。分析結果は一カ月程で生産者の元へ届けられる。何か不明な点がございましたら農業振興課までお問合せ下さい。



交換したジュースが生産者の車へ積まれる



今回から収集可能になった枝受け支柱



贈答用リンゴを詰める作業員



タブレット端末でスムーズにお客様と確認

topics

ジュース交換
最盛期迎える

05

11月23日、当JA特産販売課ではリンゴジュースの交換に多くの生産者が訪れた。収穫作業が落ち着いて最初の交換日であった為、「今日が一番賑わっている」と従業員は対応に追われていた。

担当者は「12月にもリンゴの買い取りと、ジュース交換が行われるので、多数のご利用お待ちしております。」と呼び掛けていた。

topics

正しい処理方法で廃棄

06

11月26日～27日の2日間当JA湯口支所、相馬支所において農業用使用済みプラスチック収集を行った。

毎年夏と秋に行われており、農作業も終わったことで多くの生産者がシルバーストや農薬の空容器を持ち込んでいた。今回から枝受け支柱も収集可能とし、持ち込んだ生産者は「最近この支柱を捨てるのが無くて困っていたので助かる。」と言っていました。

topics

贈答用リンゴが
ピーク迎える

07

当JA特産販売課では、贈答用リンゴの詰め合わせや、配送準備が最盛期を迎えていた。

人気の「みつまるくんシリーズ」や「飛馬ふじ」、ふじと王林の詰め合わせなど、様々な種類の製品が準備され、関係者は注文の対応に追われていた。

「去年よりも多い注文を頂いているので協力して届けたい。」と成田主任は意気込んでいた。

topics

ラフレッツで
迅速な対応

08

当JA金融共済課では12月4日から、本格的にタブレット端末「ラフレッツ」を使用した事業の展開が始まった。

この端末を使う事によりお客様の元で各契約の内容確認から、契約の完了までを行う事が可能となった。

課員は「早く操作に慣れてお客様に早く、分かりやすい説明が出来るようにしたい。」と意気込んでいた。

秋の感謝祭 年金友の会「相幸会」開催

金融課は11月30日、年金友の会「相幸会」を開催し、会員62名が参加した。

午前中は弘前市環境整備センターで、ゴミの分解の工程や、処理する為の様々な機械を見学した。今回、1時間に2回しか動かないクレーンが動く様子を丁度見る事が出来、「こんなに大きい機械が使われているんだ。」と驚く声と共に笑顔で感想を述べていた。



大きなクレーンの動きに興味津津な会員

その後、「アップルランド」へ移動し、相幸会が開かれた。

開会の挨拶では大場組合長が「会員の皆さんにはもつと長生きしてもらいこの年金友の会をこれからも楽しんでいただきたい。」と会場を和ませた。

次に大沢昭夫会長から「今年一年大きな災害もなく、皆さんの仕事もはかどったでしょう。今日はその疲れを吹きとばして下さい。」と会員の日頃の疲れを気遣った。会員は食事と、お酒を楽しみながら普段あまり会えない顔ぶれと会話を弾ませていた。



開会の挨拶をする大沢会長

金融課職員も普段からお世話になっている会員の皆さんにお酒を注ぎながら世間話などをして交流を深めていた。





会場に入ると会員の側を練り歩く

会員の皆さんの気分も大分気持ちよくなってきた頃、舞扇流若獅子組によるショーが行われ、会場の盛り上がりが高潮に達した。会員らのほとんどは舞扇を見たことが無いと言いつことで、終始綺麗な舞に熱中して見ていた。



子役の演舞に会員はほっこり笑顔



笑いありの綺麗な舞に集中して見入る会員



閉会の挨拶をする三上専務

ショーを見た後は少し温泉を楽しむ時間も設けられ、名物「りんご風呂」等を楽しむ会員もいた。次に用意された余興は当JA金融課によるゲームで、職員が突然落とす棒をいかに早くつかむことが出来るかというゲームで、各テーブルで代表2名が商品を賭けて競い合った。

参加したほとんどがキャッチすることが出来、見ていた方も終始楽しそうな様子であった。

最後に閉会の挨拶として、三上隆基専務理事が「来年の春にも長慶閣にて年金友の会を予定しておりますので、金融課職員はじめ一同お待ちしておりますので多数のご参加おまちしております。」と次の開催に期待を寄せていた。



見事入賞で商品ゲット



素早い反応で見事一位



会場は笑いで包まれた

青年部通信

事務局 小野 朋宣



JA相馬村青年部では11月29日、もち米袋詰め作業を行った。作業には20名の部員らが参加した。今年の青年部のもち米は約960キロと去年の約570キロを大きく上回ることが出来た。

部員らは毎年行っている作業であることからスムーズに作業していた。その中でも部員らはコミュニケーションをとり、作業する時

間があつたと言つ間であつたと言つ。また、今年も注文を多くいただき、店頭には並べられる1升のものとは別に大容量の10キロ等の容量を詰める作業にも部員らで対応し、毎年注文を頂けることに喜びを感じていた。今年も直売所で販売するため、柴田部長が丁寧に店頭へ並べていた。



笑いを交え会話しながら作業する部員ら



大容量の注文用を協力して作る



健診のため食事をとれず力の入らない部員ら

作業後、午後から弘前市医師会検診センターにて、16名の部員が健康診断を行った。

この取組は今回が初めてであり、去年から部員の間で健康診断を行いたいと言つ声と、弘前市健康増進課からの勧めで、今回実現した。また、喫煙者もいるため希望者は肺がん検診も受けていた。

部員らはこのために8時から何も食事をとっていなかったため、ぐったりとした様子で健診を待っていた。



採血を取る部員



自動の測定器に乗る部員

健診は身長、体重、胸部レントゲンや心電図などの項目を行い、一人一人の回転も早く、全員が終了するのに1時間程度であった。

部員らは診断し終わった問診票を見て、「体重が増えたからこれから気を付けなきゃ」など年末の過ごし方など部員らと話し合っていた。

「この取組はこれからも部員らで続けていきたい。」と柴田部長は意気込んでいた。

果実販売動向

販売課 米澤 松太



11月の果実動向は、全般に数量減の下げ基調で推移しました。ミカンについては、各産地とも早生種中心に潤沢な入荷となり、売場は拡大傾向にあります。極早生の食味不良の影響から依然として引き合いは弱く厳しい販売となっています。イチゴについては、暖冬の影響から前進傾向でスタートし、単価高から荷動きが停滞したところに入荷が急増し、下げ基調での販売となりました。カキについては、残暑の影響による着色遅れも終盤にさしかかり、売場が縮小傾向にあることから軟調相場となりました。リンゴについては、早生ふじ系、シナノスイート等の中生種が数量減でスムーズに切り上がり、後続する長野県産サンふじが着色遅れで出遅れたことから端境となり、サンふじ上位等級品を中心に高値基調での推移となりました。反面、黄色品種については、トキ・名月等の輸出向けが香港情勢の悪化に伴い台湾へ集中し、

流通在庫が多いことから荷動きが鈍く、国内出荷比率が高まり、厳しい販売となりました。当JAでは、競合果実の品質面や食味がいまひとつであることから、リンゴの国内贈答需要が前年を上回る数量となり最盛期を迎えています。加えて、春節が1月25日と時期が早いことから輸出向けも同時に最盛期を迎え、選果場は年内いっぱいフル稼働となります。

今後、ミカンについては晩生種へ切り替わりますが、裏年に加え、霜害等の影響から年末に近づくと数が減少して高騰する見通しです。いちごについては、前進化から、12月上旬にピークを迎え、最需要期のXmas、年末に品薄高になる見通しです。野菜については、相場回復を見いだせず、長期にわたって厳しい販売となっています。リンゴについては、JAグループの入庫が前年対比で85%、産地市場で95%と前年を大幅に下回っています。特にサンふじにつ

いては、それぞれ同74%、同90%とかなりの減収となっていることから、収穫量は大幅に下方修正され、越年在庫も少ない見込みから、適正な売価設定と積極的な企画販売による売り場確保により有利販売を実践します。



別表

品 種	つがる	早生ふじ	きおう	ト キ	王林	サンジョナ	サンむつ	むつ	サンふじ	その他	合 計
単 価 (円)	2,560	2,860	2,685	2,407	3,173	2,970	2,259	4,497	3,285	2,804	2,742
前 年 比 (%)	93	103	95	87	107	111	101	103	104	108	99
数量 (箱/10kg)	939,536	744,427	149,859	216,596	42,105	66,113	193	1,041	195,285	372,839	2,727,994
前 年 比 (%)	102	95	114	117	107	85	16	103	119	109	103

全農あおもりデータ・11/30累計

直売所「林檎の森」

直売所 千葉翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用頂きありがとうございます。

今年は天候不順によりリンゴの収量が例年よりも少ない状況ですが、県内外から多数のお客様がリンゴにご来店頂き、更には毎日リンゴの発送も沢山あるなどして、大盛況のうちに12月8日もって終了することが出来ました。私にとってははじめてのイベントでしたが、お客様の多くは、1人あたりの発送件数が5〜10件と多く、モールドの大きさに合ったリンゴを選ぶこと、リンゴ同士の接触を気にしながら詰める事などが大変でした。他の作業員の詰め方を見てとても勉強になりました。来年はもっと迅速な対応が出来るように頑張りたいと思います。

また、直売所では「飛馬倶楽部」のサンフジ、王林の贈答用、家庭用のリンゴの発送を順次受け付けております。詳しくは従業員一同に気軽にお声がけください。
さて、今年も残りわずかとなりましたが、皆様の一年はいかがで

したでしょうか。会員の皆様、一年間お忙しい中野菜、果物を沢山出荷して頂き有難うございます。私は今年から直売所配属になり、色々な仕事を経験させてもらいましたが慣れず、大変な一年でした。しかしとてもいい経験が出来る出来、勉強になりました。来年は頼られるような存在になれるよう更に頑張つて参ります。

お知らせ

直売所は25周年を迎えましたが、建物の老朽化により、この度来年1月から3月まで改装を行う事となりました。なお、リニューアルオープンは3月中旬を予定しております。食堂は12月8日をもって都合により閉店することになりました。長い間ご利用いただきありがとうございます。今年最後の営業は12月30日です。時間は8時30分〜16時までとなっております。新年最初の営業は1月4日〜となり、9時から16時まで仮設店舗での営業となりますのでお間違えの無いようお願い致します。

新年も直売所のご愛顧を宜しくお願い致します。お客様の来店を心よりお待ちしております。

農協青年部 もち米好評発売中!!

毎年たくさんのお客様にお買い上げいただきありがとうございます。

今年も農協青年部のもち米収穫も無事終わることが出来ました。

12月1日より「林檎の森」にて販売致しております。

愛情たっぷり込めました!

「1袋 一升入り!」

¥600 (1.5kg)



地域おこし協力隊 活動記 Vol.55



こんにちは。地域おこし協力隊の石田です。
 今回は、11月30日に長慶閣で行われた「相馬でJAZZを聴かNIGHT」の様子をお伝えします。

今年で第4回目となりましたこのイベントは、相馬地区文化祭を更に盛り上げることを目的に開催しているもので、地元の若者と協力隊とで結成された【相馬で夢おこし実行委員会】のメンバーで企画・運営しています。

当日は成田商店（紙漉沢）の飲み物、成岩食堂（五所）の食べ物、協力隊佐野さんご夫婦のハワイアンフードが楽しめて、どれも美味しかったと大好評！

今回初の試み、「クリスマス抽選会」ではロマンチック金券、御所温泉回数券、林檎の森詰め合わせ、芽女倶楽部詰め合わせなど、相馬にちなんだ景品をご用意！ 大変盛り上がりました。

本イベントは年々お客様が増えており、今年ありがたいことに約三百名のお客様と共に「Swing Hat Jazz Orchestra」さんの生演奏を楽しむことが出来ました。

【相馬で夢おこし実行委員会】では今後も引き続き、地元を盛り上げる企画を考えていく予定です。皆様ありがとうございました☆

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



十二月の川柳

花が咲き
実が成り挽いで 令和暮れ

その初年度
異状災害續きに 不安同情

幸にも
安泰の郷土に 深く感謝



(田沢 勝衛)

県税納税証明書の交付申請について

官公庁の入札参加資格審査申請、建設業許可申請、所得税確定申告、金融機関の融資申し込みなどのため、県税（法人県民税・法人事業税・地方法人特別税・個人事業税など）の納税額または未納税がないことの証明書が必要な方は、必要書類をご準備ください。（納税して間もない時は、領収証書を提示して下さい。）

納税証明書は、納税者の皆様の大切な情報を証明するものですから、窓口でのご本人確認を厳正に行わせていただいています。ご理解とご協力をお願い致します。

【必要書類等のお問合せ先】

中南地域県民局県税部 納税管理課

TEL **0172-32-1131** (内線 229. 279)

編集部のつぶやき～編集後記～

いつもご購入ありがとうございます。冬も本番となり雪がちらつくことが多くなりました。リンゴの収穫作業皆さんお疲れさまでした。これからたくさん休める時に休んで来年また一緒に頑張りましょう。一年通して、そしてこの広報「林檎の森」を通して本当に皆さんとの関りや相馬地区との関りがあってとても有意義な一年にすることが出来ました。

来年も皆さんの目に留まるような記事を書いて行けるように頑張りたと思います。

また来年もよろしく願い致します。良いお年を!! By tomoshi

理事会だより

11月20日 (水)

- 1) 10月末残高試算表について
- 2) 組合員の名義変更について
- 3) 2019ディスクロージャー誌の縦覧について
- 4) 教育・マイカーローン特別推進運動の実施について
- 5) 令和元年度減収資金の設定について
- 6) 貸付関係について
- 7) りんご販売関係について
- 8) 直売所増改築計画について

今月のあなたの運勢 ★ 1月 ★

モナ・オサンドロ 

<h4>♈ 牡羊座 ★ 3/21 ~ 4/19</h4> <p>全体運 思うようにならないことが増え、強引になりがち。謙虚さを大切に。陶芸や園芸など、土に触れると開運効果が</p> <p>健康運 体を動かせば、体調も運も上向きそう</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 クワイ</p>	<h4>♉ 牡牛座 ★ 4/20 ~ 5/20</h4> <p>全体運 保留になっていたことが動き始める予感。直感がさえるので、ピンときたら、即やってみると好結果に</p> <p>健康運 小まめに運動することで、運氣も活性化</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 セリ</p>	<h4>♊ 双子座 ★ 5/21 ~ 6/21</h4> <p>全体運 周りの意見に振り回されやすいとき。自分の経験値を信じて選択を。セールでは掘り出し物をゲット</p> <p>健康運 疲労をため込む傾向が大。笑いで発散を</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 ナガイモ</p>	<h4>♋ 蟹座 ★ 6/22 ~ 7/22</h4> <p>全体運 対人関係に変化がありそう。今まで敵対視していた相手が味方になる可能性が高め。新作映画やドラマにツキ</p> <p>健康運 生活のペースを落として。ゆとりが大事</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 ブリ</p>
<h4>♌ 獅子座 ★ 7/23 ~ 8/22</h4> <p>全体運 マイナス思考が現実化しやすい傾向あり。意識的に楽しいことを考えて。新しい習い事を始めると充実しそう</p> <p>健康運 うまく自己管理できそう。マッサージ吉</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 野沢菜</p>	<h4>♍ 乙女座 ★ 8/23 ~ 9/22</h4> <p>全体運 人気運が赤丸急上昇。自信を持ってリーダーシップを発揮して。また、長年の夢がかなう気配。新年会もラッキー</p> <p>健康運 消化に良い食べ物を。栄養にも配慮して</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 ゴボウ</p>	<h4>♎ 天秤座 ★ 9/23 ~ 10/23</h4> <p>全体運 うっかり発言でトラブルを招く暗示。特にお酒の席ではご用心。丁寧に玄関の掃除をすると運氣好転の効果が</p> <p>健康運 足腰を鍛える好機。短い時間でも歩いて</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 ホタテ</p>	<h4>♏ 蠍座 ★ 10/24 ~ 11/22</h4> <p>全体運 フットワークが軽くなる期間。興味を引かれるジャンルを見つけたら、早速試してみても。グループレジャー吉</p> <p>健康運 お正月太りにご用心。カロリー計算を</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 こんにゃく</p>
<h4>♐ 射手座 ★ 11/23 ~ 12/21</h4> <p>全体運 得意なことや好きなジャンルに情熱を注ぐと、それが活躍の場を引き寄せます。ずっと欲しかった物を買えそう</p> <p>健康運 スポーツを楽しめば、ストレス解消に◎</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 伊予カン</p>	<h4>♑ 山羊座 ★ 12/22 ~ 1/19</h4> <p>全体運 強運期。やりたいことに果敢にトライを。面接や公募などの自己アピールも好結果に。くじや懸賞も当たりそう</p> <p>健康運 良質な睡眠を目指せば、自然治癒力アップ</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 豆腐</p>	<h4>♒ 水瓶座 ★ 1/20 ~ 2/18</h4> <p>全体運 大仕事を成そうと気張るより、地道な積み重ねが福を呼びます。現代アートは感性に良い刺激を与えてくれそう</p> <p>健康運 健康グッズに注目を。体質に合う良品が</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 あんこ</p>	<h4>♓ 魚座 ★ 2/19 ~ 3/20</h4> <p>全体運 尊敬する人の行動を参考に仕事のやり方を変えるなど、自己改革に取り組んで。同世代有名人の出演番組にツキ</p> <p>健康運 暴飲暴食は厳禁。腹七分目くらいが正解</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 芽キャベツ</p>

表紙物語

今月の表紙は紙漉沢地区の沢口
 義明さんと山田地区の成田光秋さ
 んがJA駐車場や農道の除雪を行
 うためにタイヤシヨベルの準備を
 行った時の一コマである。

沢口さんと成田さんが除雪を始
 めてから、8年目であり二人の後
 ろに映っているタイヤシヨベルと
 同じ年数だという。また、もう一
 台のタイヤシヨベルがあるが、15
 年ほど頑張っているという。

この日二人はタイヤにチェーン
 を巻く作業を行い、太く重いチェ
 ーンを汗を流しながら巻きつけてい
 た。同時に試運転も行い、問題が
 ないことを確認していた。

農道の除雪では、今年も園主の
 皆様に畑仕事中の駐車場などに
 ご協力お願いしたいと言っていた。
 何より、無事故で安全に作業でき
 ることが一番の願いだと言った。
 成田さんは気を引き締めていた。



声をかけ合って微調整をする



リフトを使って重いチェーンを乗せる



ワイヤーでもしっかり固定



固定したことを二人でチェック

JA相馬村広報

林檎の森 りんごのもり

2019.12 Vol.449

■ 発行者
 相馬村農業協同組合
 〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
 TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集
 総務課広報
 ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
 e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日
 2019年12月15日

JA 相馬村概況

〈令和元年 11 月末日現在〉

組合員数…………… 870 人
 (うち准組合員数 …… 366 人)
 出 資 金…………… 628,330 千円
 貯 金 額…………… 10,054,995 千円
 共済保有高……………3,338,023 万円